

高齢介護部

利用者の方一人ひとりの生きてこられた歴史を大切に『介護する人』『介護される人』ではなく同じ人間として尊重する。府中みどり園を自分が年をとった時に生活したい場所として考えられるよう日々の利用者の方の生活について考える

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

コロナが5類になり、地域活動が復活した中で、改めて地域との繋がりを深めていくことが、地域密着型の施設として大切である。事業継続の観点から計画に基づいた人材育成と地域共生社会を推進する力をつけることを、令和6年度の事業計画にまとめた。

・外国人技能実習生についての理解と育成をすすめる

年間計画	取組内容	評価
特養リーダー、スタッフ全員が技能実習生について理解し、育成に力を入れる。		
協同組合と協力し、技能実習生とともにチーム作りを行う。		

・中期計画を進める

年間計画	取組内容	評価
特養、小規模、デイが60%から100%に、まだ作成していないショートステイも含め、すべての部署で作成完了し、動き始める。		

・人材の育成（リーダー、スタッフ、実習生）

年間計画	取組内容	評価
小規模とグループホームは昨年度始めた育成スタイルの継続。特養ショートとデイについては、リーダーと管理者中心に育成方法について検討し、実践できるよう準備する。		
園全体のチューターが今年度は研修報告会や勉強会を開催し、チューター自身の質の向上を図る年とする。		
どこの部署も体制を強化する。リーダー同士が連携し、今年度、安定した運営を目指す。		

・災害や感染に強い施設づくり

年間計画	取組内容	評価
BCP について、出来上がったものを 6 部門がそれぞれブラッシュアップする。		
BCP について、出来上がったものを各部門でユニットスタッフに伝えて、訓練する。		

・地域共生社会

年間計画	取組内容	評価
法人理念を基に府中みどり園は人がつながる場づくりを様々な視点で取り組む。		
今年度は地域共生社会を意識し、昨年以上に地域とのつながりを意識し、感染や災害があっても様々な人が様々な形で参加できる活動を増やす。		
老施協の発表で、地域共生社会を他の事業所とともに考えるきっかけにしていける。		

中期的重点方針 評価：○達成・△一部達成・×未達成

年間計画	取組内容	評価
府中みどり園の未来を考えた人材育成		
建物の修繕が増えているので、計画的に予算配分し、修繕費用の捻出をする。		
府中町、広島県、県を超えて発信していける理念に基づいた介護内容の創出と地域づくりを行う。		
『誰もが主人公となれる社会をつくる』という法人理念に向けた取り組みを地域共生社会に視点をおいて実践する。		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：千円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	
エレベーター部品交換	2,189			
エレベーター液晶	825			

府中みどり園 特別養護老人ホーム

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

特別養護老人ホームの重点目標はコロナが5類になり、他の部署が以前の府中みどり園のような動きを再開する中で、まだなかなか元に戻れない状況があったので、以前の特養を取り戻すべく、4つの重点目標を掲げる。

・『生活』を意識したユニット運営

年間計画	取組内容	評価
コロナの感染状況が数年続き、ユニット全体の意識低下もあり、『生活』についての意識が薄くなっている。どのユニットも入居者様それぞれの生活を意識して、園内だけの生活でなく、地域も含めた生活の意味を改めて考える年とする。		
感染症に負けない、生活を意識したユニット運営を意識する。		

・リーダーの育成とリーダーのスタッフの育成力をあげてチーム力をつくる

年間計画	取組内容	評価
感染症で人員不足になっても、リーダーだけに頼らず、どのスタッフも持てる力を発揮して、ユニット運営が出来るようにしていく。OJT、OFFJT、SDSなどすべて取り入れて、人材育成にどのユニットも取り組む。		
フロアで1名以上はチューターを新たに育成する。		

・理念の理解

年間計画	取組内容	評価
リーダーの理念勉強会を開催し、理念についてリーダーが自分の言葉で話ができるようにしていく。		
園内のことだけでなく、ご家族や実習生という外部の方、地域との付き合い方も含めた理念の理解をする		

自己振り返りシートをユニットごとに活用する。		
------------------------	--	--

・特養の入退居について

年間計画	取組内容	評価
特養は介護度の高い方が多いため、昨年度は退居がとて多かった。入居相談、入居情報の整理、検討会議などの情報整理と運用をリーダー同士が連携して行う体制づくりをする。		

基本的計画

・利用率【利用定員 29 名(府中町に住民票がある方に限る)】

年間計画	結果	評価
98%	%	

・職員数 35 名(併用ショートも含む)

施設長	1 名	副施設長	0 人	医師	1 名
生活相談員	3 名	栄養士	1 名	介護支援専門員	1 名
看護師	4 名	介護職員	24 名		

入居者それぞれの生活づくりを進めていくために、日課は基本的に作らない。主な目安としての時間帯は次の表の通りとしている。

区分	時間	日課	区分	時間	日課
午前	0 : 00	おむつ交換、吸引、体位交換 見守り、入居者対応	午後	12 : 00	昼食【14 : 00 まで】
	1 : 00			13 : 00	昼寝、リハビリ、趣味活動
	3 : 00			14 : 00	トイレ、おむつ交換
	5 : 00	15 : 00		おやつ	
	6 : 00	起床、洗面、更衣		16 : 00	おむつ交換、夕食準備
	7 : 00	朝食準備		17 : 00	
	8 : 00	朝食【10 : 00 まで】		18 : 00	夕食
	10 : 00	お風呂【16 : 00 まで】		19 : 00	歯磨き、更衣
	11 : 00	昼食準備		20 : 00	就寝準備、おむつ交換など

中期的重点課題 評価：○達成・△一部達成・×未達成

・理念に基づいた介護を伝えられる職員を増やす

年間計画	取組内容	評価
日々の介護の中でどのようにしたら理念に近づけるのかを考えられるスタッフを増やしていくため、スタッフそれぞれのケアの質の向上と、自己覚知出来る力を作る。		
現実的に人員配置を考え、理念に近づけるよう具体的なスタッフの動きを考える。		

・予算管理

修繕費用や新たな購入が増えているので、ユニットリーダー同士で必要なものを共有し、計画的に購入を考える。		
特養は介護度が高いため、退居される方が他の部署より多い。次の入居が決まらなると居室があいたままになるため、退居から入居までの日数の管理と、入居検討会議の在り方の見直しをしていく。		
未来の府中みどり園を見据えて、リーダーや相談員が自分事として考えられるよう、会議や日々の中で意識していくことと、身の回りの物品、ユニットの物品や環境についてリーダーとスタッフが先を見据えて考える。		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：千円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	
お風呂	450			

府中みどり園 ショートステイ

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

ショートステイは若いスタッフと新しいスタッフが他の部署より多くなっているため、今年度は育成の視点と去年から取り組むことになっている生活を意識した個別ケア、また他部署との連携について進めていく。

・個別ケア

年間計画	取組内容	評価
個別ケアプロジェクトで学んだスタッフを中心に、ショートステイ（短期の滞在）であっても、利用者様の背景を個別に理解しながら、関係づくりを行う。		
それぞれの方の行きたい場所、会いたい人、買いたいものなどを理解し、外出や日常を一緒に楽しみながら行っていく。		
ショートステイはコロナ禍、ロングショートの利用者様が増えたことで、『生活』を意識した関わりが必要となっているが、行われているのは従来と同じケアである。今年度は『生活』を意識した関わりをスタッフ全員が考えていく。リーダーにユニットリーダー研修で学んでもらい、それを軸として行っていく。		
認知症の症状の方が多く、行き来が多いショートは認知症の理解をスタッフが出来ることが個別ケアにつながる。認知症ケアの勉強会を現場に活かす。		

・人材育成

年間計画	取組内容	評価
リーダーや相談員だけでなく、スタッフ自らが「今日はこんなことをする」という目的意識をもって介護をするユニットにする。		
委員会や研修の取り組みを担当者がユニットに伝えて、スタッフ全体が理念を意識した取り組みができるようになる。		

チューターの育成ができるように、リーダーと相談員が検討していく。		
----------------------------------	--	--

・他部署との連携

年間計画	取組内容	評価
ショートからグループホームへ、ショートから特養へ行く利用者様情報の共有と、入居を視野に入れた情報収集と生活づくりをして、他部署と連携していく。		

基本的計画

・利用率【利用定員 10 名】

年間計画	結果	評価
100%	%	

・職員数「特別養護老人ホーム府中みどり園」の職員定数に含む。

・日課は、「特別養護老人ホーム府中みどり園」に同じ。

中期的重点課題

評価：○達成・△一部達成・×未達成

・府中みどり園のショートステイの特徴を理解する

年間計画	取組内容	評価
送迎、レク、お風呂、食事、送迎だけで終わらないように、利用者の個別性を意識したショートステイを目指す。そのためには、「ショートだから、利用者様の背景について理解しなくても良い」のではなく、ショートだからこそ、ご自宅、ご家族との関わりの中で、その方の背景を意識した関わりが重視できるようなショートを目指す。		

・コロナ禍でショートステイの利用が減らないよう、また利用したいショートを目指す

年間計画	取組内容	評価
コロナ禍であっても、受け入れ時の工夫や感染対策を行い、相談員とスタッフがともに連携をとり、情報を共有し、利用者様が「また来たい」と思えるようなショートステイを目指す。		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	

府中みどり園 デイサービス

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

デイサービスは昨年度後半から行っているメニューを見直し、利用者を増やし、コロナ禍で低迷していた時期を脱しつつある。理念に基づいた『利用したいデイサービス』のために、利用者満足度を上げて、スタッフの育成に取り組むデイサービスにしていく。またコロナ禍からの出控えや利用中止などもあるため、相談業務の体制強化を行う。

・利用者満足度を上げる

年間計画	取組内容	評価
新しいメニューの開発、今のメニューのブラッシュアップをする。		
原点に戻り、利用者の 24 時間を考えたデイサービスにする。在宅での生活、ご家族との連携をはかりながら、デイだけで楽しめれば良いというデイではなく、生活を考えたデイの在り方を考える。		
ケアマネや他のデイから情報収集を常に行い、デイ相談員会議で満足度の高いデイについて検討する。		

・人材育成

年間計画	取組内容	評価
リーダー層の育成として、園内勉強会への参加、外部への勉強会への参加、他のデイのリーダー層との意見交換をする。		
スタッフの育成として①コミュニケーション研修の受講と振り返り②接遇研修の受講と振り返りを全員に対して行い、サービスの質の向上を目		

指す。		
ショートステイと同じく、認知症の利用者の方が多いので、認知症症状の理解のための勉強会参加や会議の中でケアについて話す場をもつようにする。		

・相談業務体制強化

年間計画	取組内容	評価
地域へのアピール、アピールできる内容、相談員の相談援助技術、対応力を体制を見直すことで強化していく。		

基本的計画

・利用率【利用定員 10 名】

年間計画	結果	評価
90%	%	

・職員数 12 名

管理者	1 名	看護師	1 人	相談員	3 名 (兼務 1 名)
介護職員	8 名				

中期的重点課題

評価：○達成・△一部達成・×未達成

・府中みどり園のデイサービスの特徴の見直しと PR

年間計画	取組内容	評価
スタッフそれぞれが、外に対して PR していることを心に留め、一人ひとりの日々の対応、接遇、コミュニケーションを大切にする。 デイの特徴は常に新しい情報から更新して、より良いデイサービスを目指す。ボランティアの復活がまだ出来ていないので、ボランティアや地域との関わりを大切にしたデイサービスを目指す。		

・感染や災害に負けないデイサービス

年間計画	取組内容	評価
リーダー、スタッフとも感染や災害について敏感に対応できるデイサービスを目指す。		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	

府中みどり園 グループホーム

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

グループホームは地域活動を多く復活し、入居者様に楽しんでいただく取り組みを多く行ってきたが、一方で年末の感染では多くの方に広がり、対応が遅くなった。地域活動を出来るだけ沢山行いながら、感染対策にも取り組めるグループホームを目指す。

・理念に基づいた実践

年間計画	取組内容	評価
地域づくりを積極的に行う。地域にグループホームを知ってもらおう活動をリーダーだけでなく、スタッフも理解し、行えることを目指す。		
それぞれの方の行きたい場所、会いたい人、買いたいものなどを理解し、外出や日常を一緒に楽しみながら行っていく。		
スタッフの誰もが毎日の目標をもち、振り返りができることを目指す		
認知症の方との関わり方をグループホームだからこそ日常生活の中での個別の役割を引き出し、生活の奥行を大切にする。		

・人材育成

年間計画	取組内容	評価
スタッフそれぞれに合わせた研修計画を立案する。		
グループホームケア会議の中で、理念に基づいたケアや育成を行う。		
実習生を育てることを通して、自分たちが育つ。		

基本的計画

・利用率【利用定員 18 名】

年間計画	結果	評価
100%	%	

・職員数 18 名（非常勤含む）

管理者	1 名	フロアリーダー	1 人（介護職員兼務）	リーダー	1 名（介護職員兼務）
看護師	1 名	計画作成担当者	2 名（介護職員兼務）	介護職員	16 名

中期的重点課題

評価：○達成・△一部達成・×未達成

・理念に基づいたケア

年間計画	取組内容	評価
入居者の背景を把握したケアが行える		
スタッフが言葉遣いや対応を丁寧に行い、入居者様の尊厳について考えられる		

・地域活動

年間計画	取組内容	評価
入居者様が地域の行事、活動に参加できるようにスタッフが地域行事の理解、把握する		

・感染・事故について

年間計画	取組内容	評価
感染症について、スタッフ全員が理解し、初動についてマニュアル通り行える		
事故について、スタッフ全員がひやりはつとをあげて、事故を減らす		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	

府中みどり園 小規模多機能ホーム

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

昨年度は地域とつながる活動を積極的に行い、小学校との絆は深まり、小規模連絡会としての動きもあり、地域に必要とされる場としての小規模が出来つつある。さらに活動を広げ、そこに携わるスタッフの育成にも力を入れていきたい。

・地域に必要とされる相談場所となる

年間計画	取組内容	評価
小規模と地域とのつながりを生かして、地域の方が困った時に相談する場所としての小規模ホームづくりをしていく。		
利用されている方が利用時間の中で地域にふれる時間をさらにつくる		
地域に向けて、小規模として何か行事をつくっていく。		
災害支援で小規模が地域の力になれるように町内会や小学校と連携する		

・人材育成

年間計画	取組内容	評価
小規模独自のチューター委員会を活かし、人材育成を進める。		
理念に基づいたケアについて個別ケアプロジェクトの利用やユニット会議の中でスタッフと共有していく。		

基本的計画

・利用率【登録定員 29 名】

年間計画	結果	評価
90%	%	

・職員数 13 名（非常勤含む）

管理者	1 名	計画作成担当者	1 名
看護師	1 名	介護職員	10 名

中期的重点課題

評価：○達成・△一部達成・×未達成

・利用者満足度を高める

年間計画	取組内容	評価
選ばれる事業所として、外部評価などを利用しながら、利用者満足度を高め利用される方を増やす		
理念を理解して、利用者の背景を考えたケアができるようになる		

・地域に向けた活動

年間計画	取組内容	評価
小規模から地域への広報、小規模がつくった行事に地域の方が参加するような活動づくり		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	

府中みどり園 居宅介護支援事業所

重点目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

昨年度管理者が変わり、居宅として改めて存在意義を考えながら園内の在宅サービス事業所と連携した会議も開催してきた。今年度も色々な部署、地域の事業所と連携をはかり、府中みどり園の居宅として地域の相談場所を目指す。

- ・繋がることを大切にする

年間計画	取組内容	評価
地域の事業所、関係機関と連携し、常に新しい情報を収集し、発信する。		
相談があった時に、府中みどり園居宅に相談して良かったと言われる事業所を目指す。		
園内の在宅サービスについても常に関心を持ち、連携していく。		
地域に出向き、社会資源の理解を深め、他の居宅よりも社会資源を知っている事業所となる。		

- ・人材育成

年間計画	取組内容	評価
園内スタッフの育成協力 ケアマネ、介護福祉士勉強会講師など、園内スタッフの育成に協力する		
ケアマネの質の向上 研修や勉強など積極的に参加し、自己研鑽する。		

府中みどり園の居宅ケアマネとして、理念を理解し、担当利用者様、事業所、園内スタッフとの関わりに活かしていく。		
--	--	--

基本的計画

・利用率【利用定員 122名】

年間計画	結果	評価
80%	%	

・職員数（非常勤含む）

管理者	1名	居宅ケアマネ	3名
-----	----	--------	----

中期的重点課題 評価：○達成・△一部達成・×未達成

・選ばれる居宅の意味を考える

年間計画	取組内容	評価
選ばれる居宅とはどのような居宅なのかを全員が共有、理解し、一人ひとりの目標を立てて、選ばれるための活動について考える。		

施設・設備整備状況 評価：○達成・×未達成

単位：円

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況		評価
物品件名【購入・工事】	金額	物品件名【購入・工事】	金額	